

分所支部長研修会報告



分所支部長研修会参加の皆様

この2点を本苑といたしましては重点に聖地への団体参拝を考えております。

本部行事・聖地参拝のお誘い

三河本苑としまして2つの重点目標に参加!

【事務局】

●第一に「五月四日、教主生誕祭・三代教主・教主補生誕祭全国愛善歌奉納大会」への参加

「瑞声」の2部合唱で三河本苑として参加したいと思えます。青年部の協力にて、月次祭の後全員で練習を行います。当日参加出来ない方もいっしょに練習をして頂きたいと思えます。

●第二に「十月十二日、綾の聖地エルサレム大本歌祭り」への団体参加

団体バスを日帰りにて、出ず事を検討いたしております。詳細は決定したい本苑だよりにて紹介し募集をしたいと思えますので、多数の参加を願います。

三河本苑だより

4月号

2025・4 No.515

(発行者) 大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町2-8-5

TEL.0533-69-7518

FAX0533-69-1455

宣伝使制度100年を迎え

【教務局】

また各個人での各大祭への参拝、献勞奉仕などの誠心会、直心会、青松会、青年部の活動にも本苑としてバックアップして行きたいと思えます。次長・事務局長 河合恭久

今年度は宣伝使制度100年の佳節を迎え、宣教師としては信徒の皆様を始め、宣伝使の方々に救世のご神業を推進して頂く為に、教本認定講習会の受講をすすめています。今回、1級を受講された方は5人、2級を受講された方は3人、3級を受講された方は3人。延べ11名の方々が受講されました。

各機関長の方々に宣伝使昇、新任をご推薦頂きたく思えます。

●春季大祭(本部講師)・秋季大祭(本苑特任講師)などの記念講話

●大本ビデオニュース、YouTube等を放映 教務局長 永田修三

令和七年春季大祭奉納冠沓句の募集

【冠句題】
・三河には
・真心の
・堂々と
【沓句題】
・宝物
【〆切】四月二十日(日)
(本苑四月月次祭)
※一人五句まで 芸術部

一・三級教本認定講習会の報告

二月二十二日(土)本苑にて、教本一級、芝田講師・教本三級、加藤講師による「各級認定講習会」が執り行われました。
●三級参加者Aさん
教本にそって音読していくことで、わかったように思えたもののテストではほとんどあたまにも視覚にも残っていないことが非常に残念でありましたが、テキストもあり、家で復習をくり返します。
●一級参加者Hさん
対話実習が良かったです。教本をもっと読み込みたいと思えました。皆さんと一緒に本を読んだら講話の練習が出来、楽しかったです。



亀岡大本本部 万祥殿 献勞奉仕案内

日時：四月二十七日(日) 九時三十分より 十五時頃まで
場所：亀岡大本本部・万祥殿(能舞台裏 廊下 集合)・九時頃までに現地に集合して下さい。
誠心会・三浦浩

四月の行事

●二十日(日) 本苑四月月次祭
●二十七日(日) 愛善歌奉納大会練習
●五月の行事
●十八日(日) 本苑春季大祭 (市杵島姫命春季大祭)
●二十五日(日) 東海教区錬成道場 (青松会) (三河本苑)
●信徒作品展

四月添釜 四代教主を 偲ぶ茶会

聖子様をお偲びしつつ春の一番を差し上げます。茶道部/直心会第一ブロック

三河本苑公式LINE

↑ コチラから
本苑だより更新中

令和7年 春季大祭(市杵島姫命)・祖霊慰霊大祭 のご案内

【お願い】

皆さま、前日の本苑
清掃、準備のご協力
をお願いします。

【日時】 2025年 5月18日(日) 午前10時より

【場所】 大本三河本苑

【講師】 特派宣伝使 前田茂太先生

【諸行事】 節分大祭人型功労者紹介・冠沓句巻開き・信徒作品展・大祭添釜

心に響いた節分大祭

碧南分所 蒲生陽菜

私は普段、家での月次祭や聖地への参拝といった参拝者としての経験しかありませんでしたが、ご縁があり、今回瀬織津姫として大本の節分大祭にお仕える貴重な機会をいただきました。私にとって、

大本の節分大祭は旧年の厄を払い、新たな年の始まりを祝う行事という表面的な認識に過ぎませんでした。

しかし、実際に瀬織津

姫としてお仕える中で、人型を通じて多くの願いに触れることができました。その中には、ご病気の方の回復と幸せを願うメッセージが添えられているものもあり、拝見した際に思わず目頭が熱くなりました。

また、和知川において、これまで綾部の食堂にある大きな絵でしか見たことがなかった人型流しを拝見し、祝詞を奏上しながら感動で胸がいっぱいになりました。瀬織津姫のお役目を通じて、節分大祭に込められた人々の想いに触れ、非常に意義深い時間を過ごすことができました。

この貴重な体験を心に刻み、これからも感謝の心を忘れず過ごしていきます。この度は貴重な機会



をいただき、ありがとうございました。

瀬織津姫のご奉仕に参加して

碧南分所 蒲生真矢

先日、節分大祭に瀬織津姫として、姉と二人でご奉仕させていただきました。

節分大祭には参拝した

ことが無かったため、なにことも初めてのことで驚きの連続でした。大瀬斎神事、特に舞姫と八雲琴による「潔斎の舞」は、普段のお祭りとは雰囲気や空



気感がガラッと代わって、当日は雪も降っておらず、凍えるような寒さというほどでもありませんでしたが、何事もなく瀬織津姫のご奉仕を全うさせていただきました。大祭であり世界にとって重要な意味をもつ節分大祭に、瀬織津姫として参加させていただき、瀬斎神事に関わらせていただいたことは、これ以上なく貴重な経験だと思えます。

この体験を胸に刻み、日々の生活に励んでいきたいと思えます。

私の思い

正徳分所 永田修三

信仰心

私は7人兄弟の末子で縁あって家業を継ぎ両親の面倒も見させて頂きました。20歳頃の思い出ですが、その頃は父に理解してもらえず、神様はまだお迎えできず、聖師様のお写真を真ん中に置き、ろうそくと松を添えて朝夕拝をしていました。

父は信仰心がとても厚い人で、天照大神様をはじめ仏様も毎日お参りしていました。残念なことに大本の神様は、私たちの間違った信仰でなかなか奉斎することができませんでした。そんな中でも父は仕事の師匠でもあり、仲は悪くはありませんでした。

ある朝、私と父は仕事で山奥の田舎へ行きました。田舎なのですれ違う車もなく気楽に走っていると、信号機のある交差点が見えてきました。赤信号になっていたのが普段なら停止線の前で止まりますが、その時に限って、なんとなく7~8メートル手前で止まりました。すると、右側から2トラックが信号機を左折して私たちの方へ曲がってきました。

その時、トラックの積み荷の鉄骨の鋼材が停止線のところに「ドン！」と落ち、トラックの運転手は「はっ」という青ざめた顔をしていましたが、なぜか私は落ち着いていて、信号機が青になったのでその鉄骨を避けて前に進みました。

後で思ったのですが、あの停止線で止まっていたら死んでいたかもしれないなァと思い、神様に感謝しました。

【世界平和祈願】

綾の聖地エルサレム大本歌祭

献詠歌募集：投稿 1人1首

1. エスペラントで投稿 入花料無料
2. 日本語で投稿 エスペラントの翻訳希望・入花料 2000円
3. 日本語で投稿・入花料1000円

本部の締切が5月15日必着の為、三河本苑でまとめて郵送希望の方は4月20日(日)本苑月次祭までに、入花料と一緒に芸術部へ提出をお願いします。芸術部部长：藤浦理子

(詳しくは、「大本 2月号7ページを参照して下さい。)